

図22①

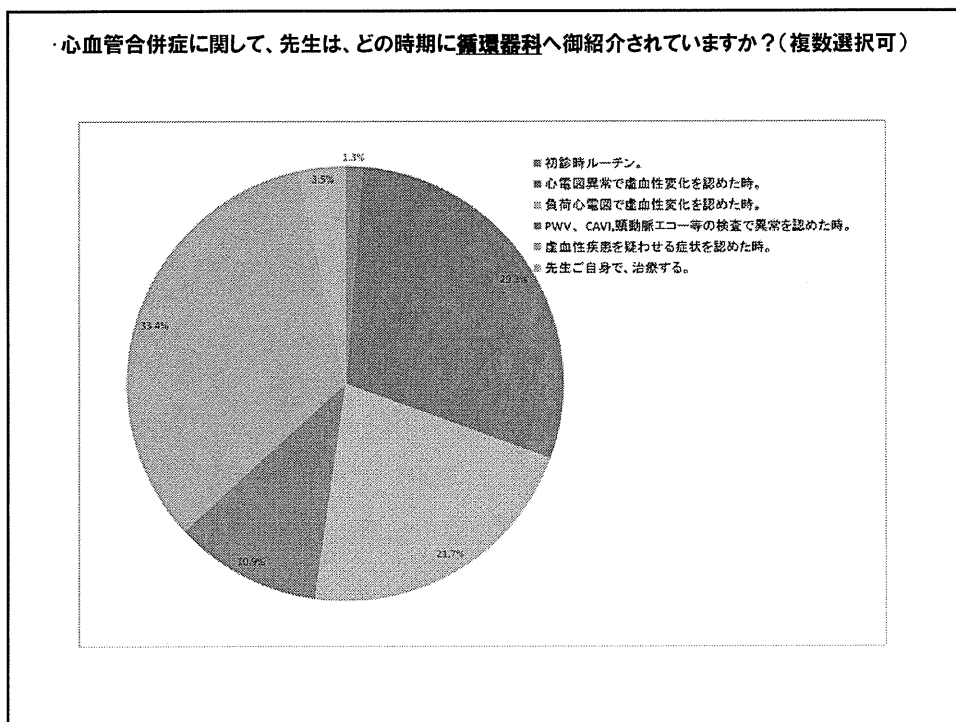


図22②

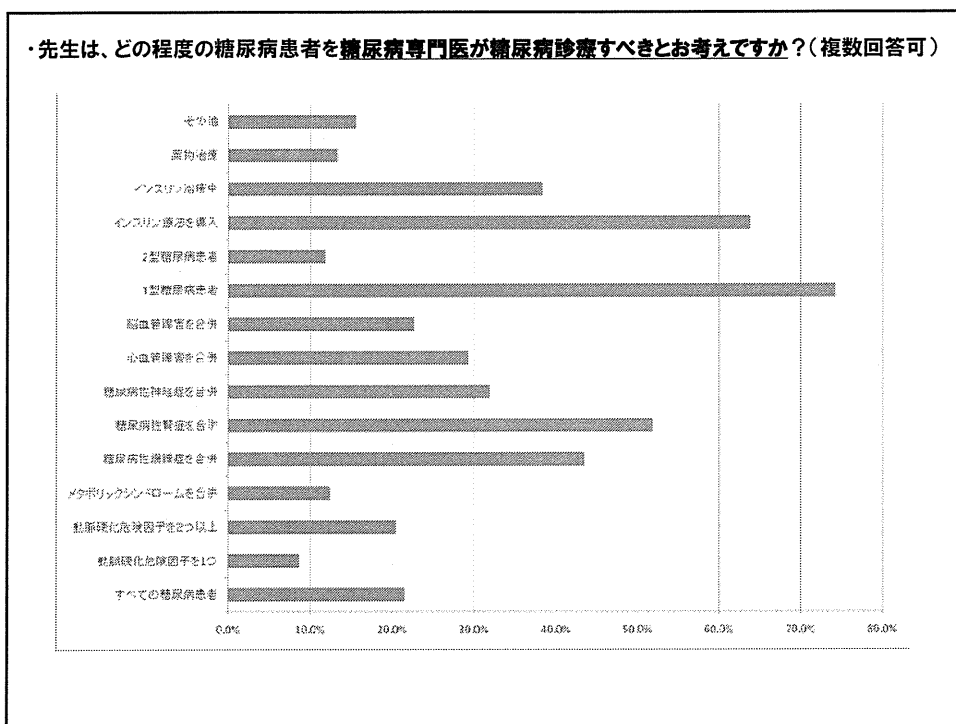


図23 かかりつけ医への糖尿病診療アンケート解析①

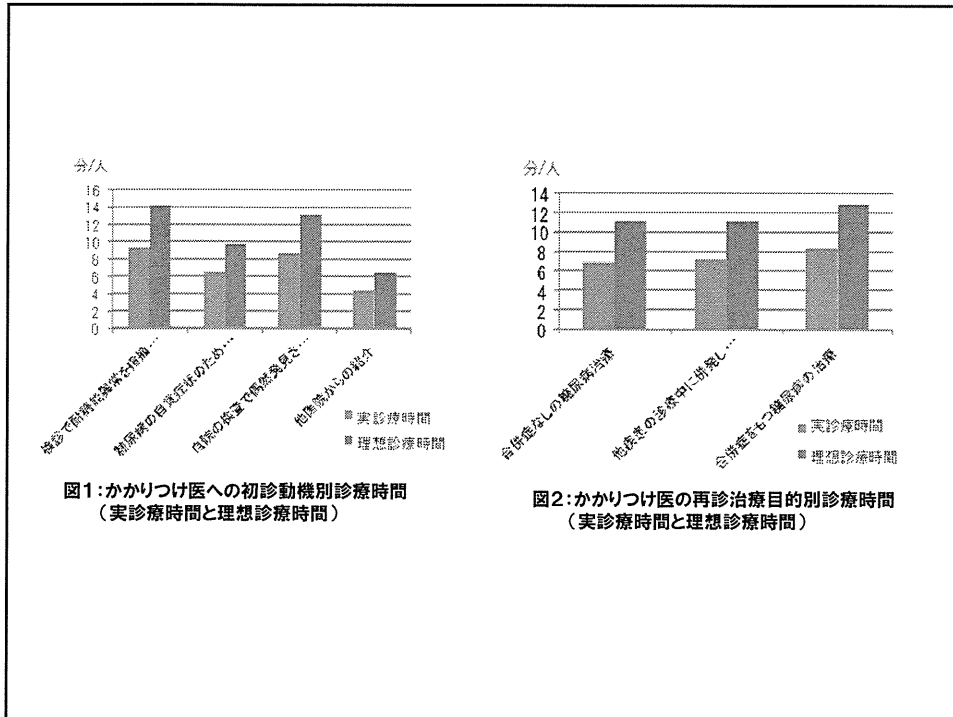


図23②

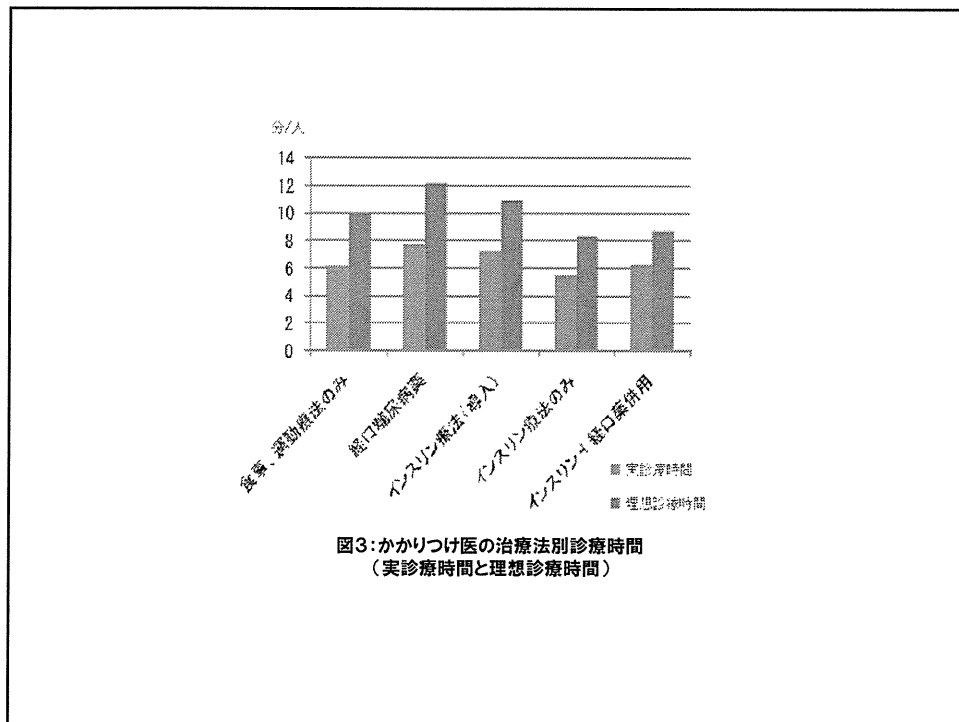


図23③

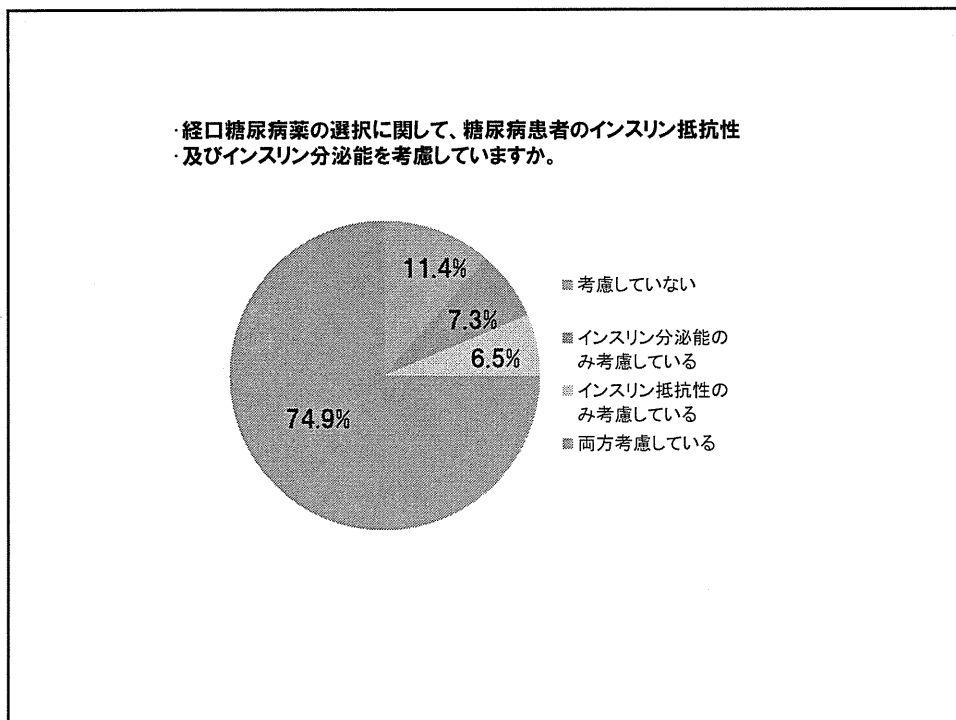


図23④

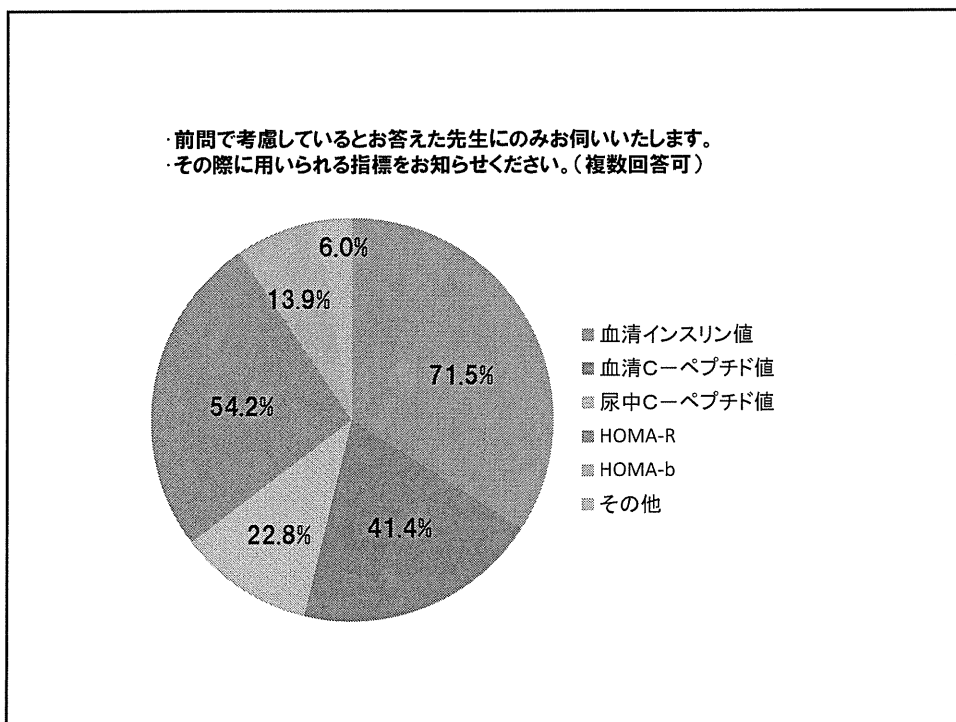


図23⑤

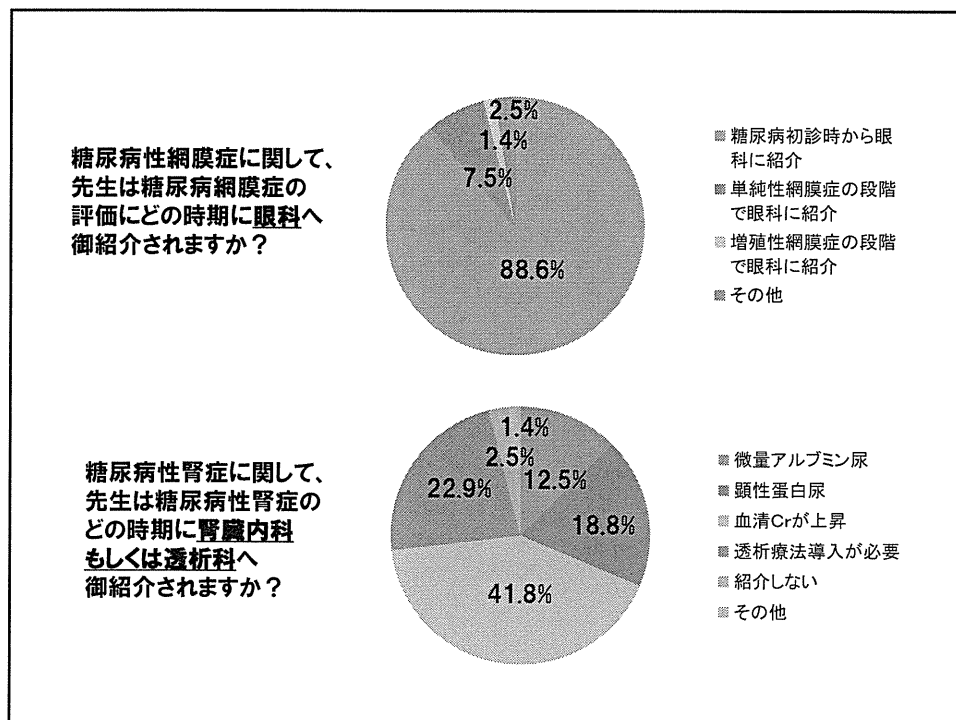


図23⑥

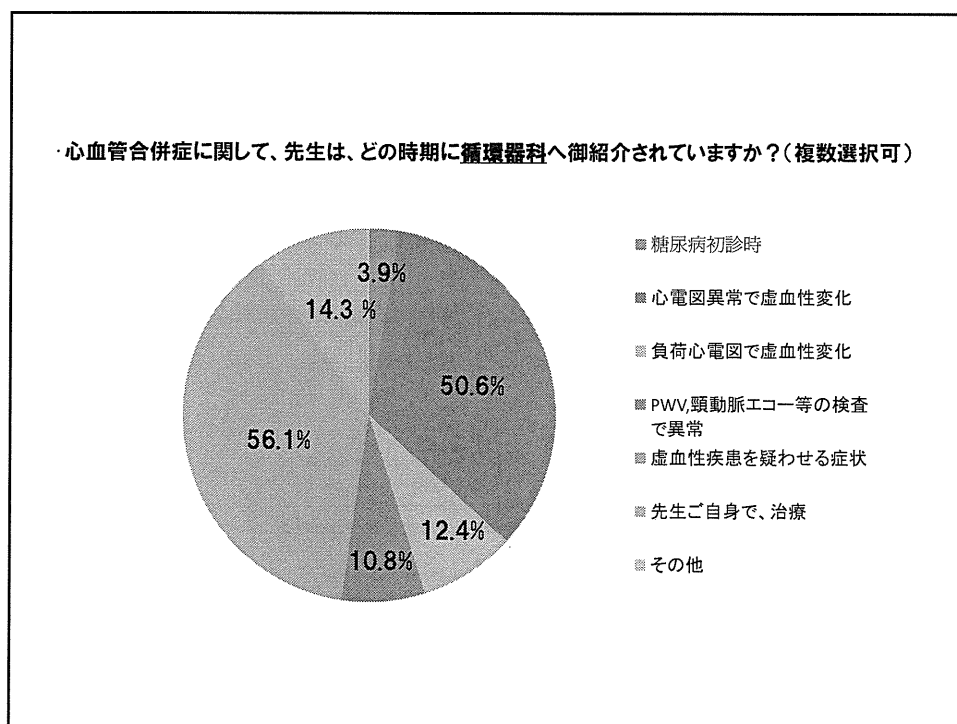


図23⑦

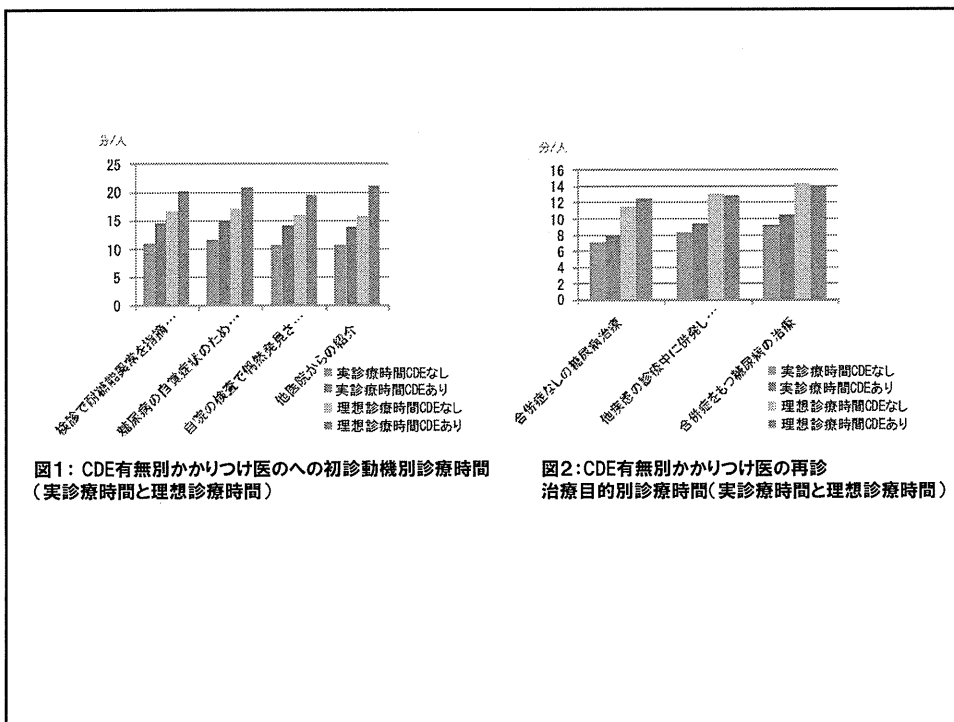


図23⑧

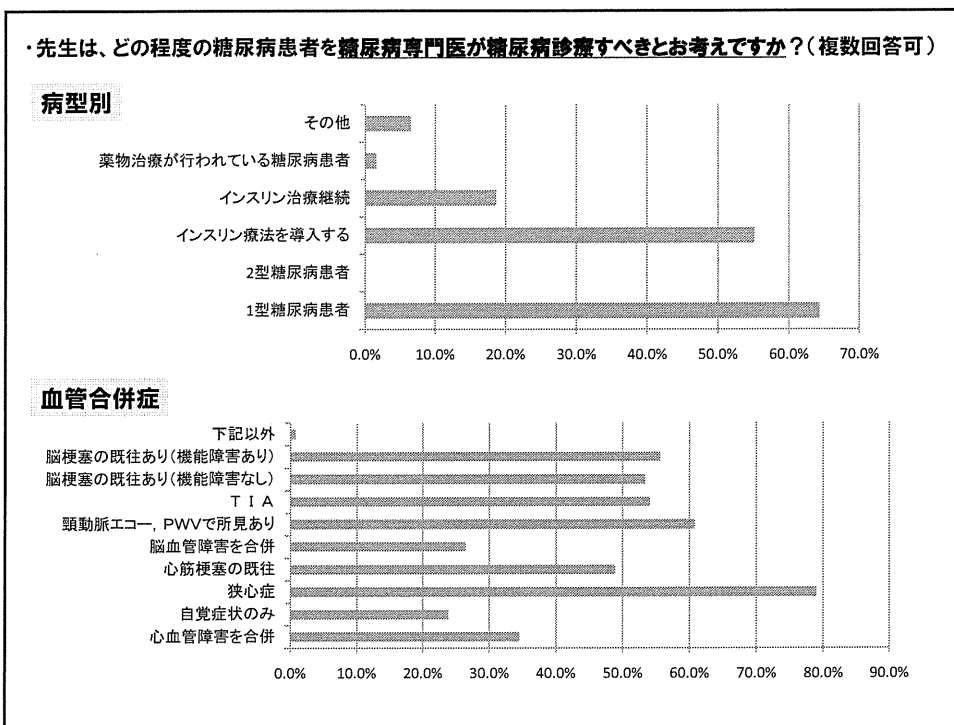


図23⑨

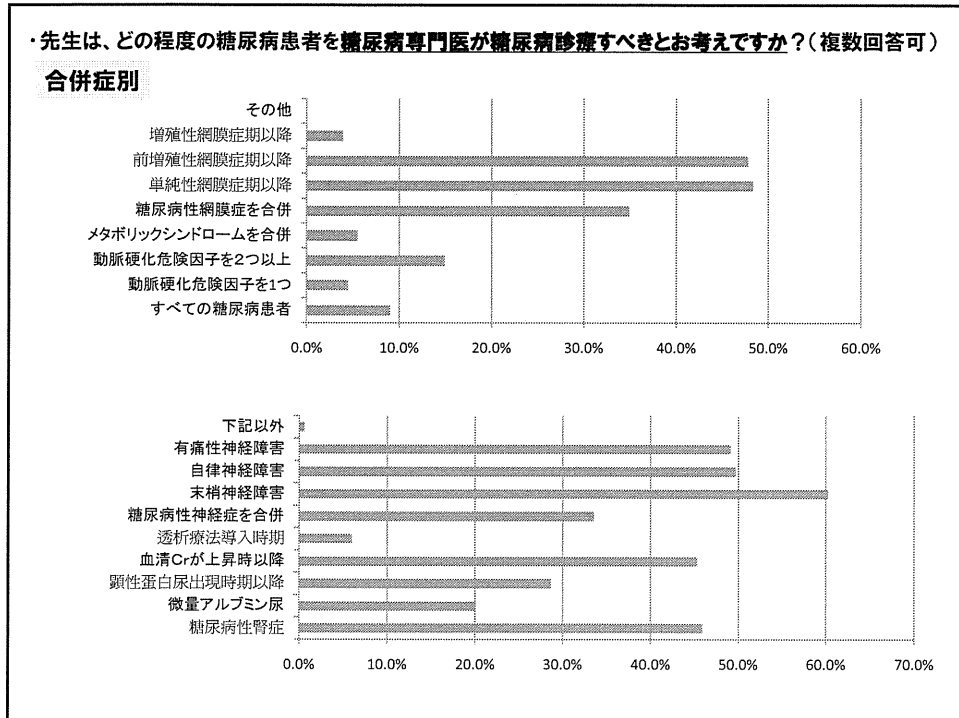


図24 糖尿病腎症に関する腎臓透析専門医へのアンケート①

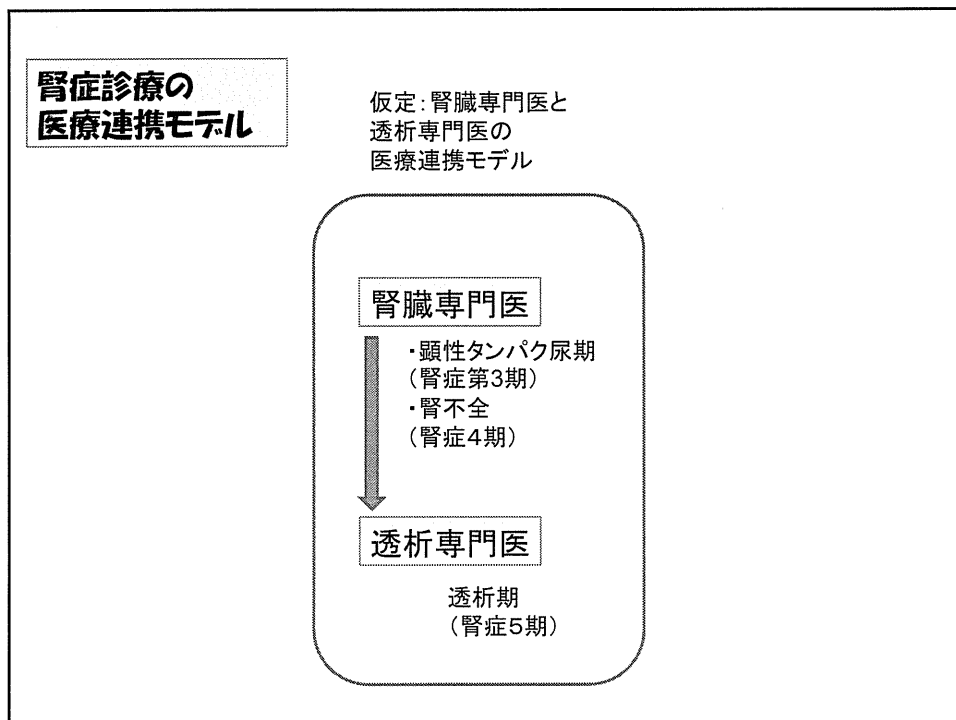


図24②

糖尿病性腎症の患者数の推計

国民健康・栄養調査		糖尿病性腎症患者数	
糖尿病が強く疑われる人		8,900,000	人
糖尿病性腎症	11.1%	987,900	人
JDDM 10			
腎症3期	7.0%	623,000	人
腎症4期	2.6%	231,400	人
腎症5期	0.4%	35,600	人
わが国の慢性透析療法の現況			
透析導入		15,750	人
維持透析		87,500	人

図24③

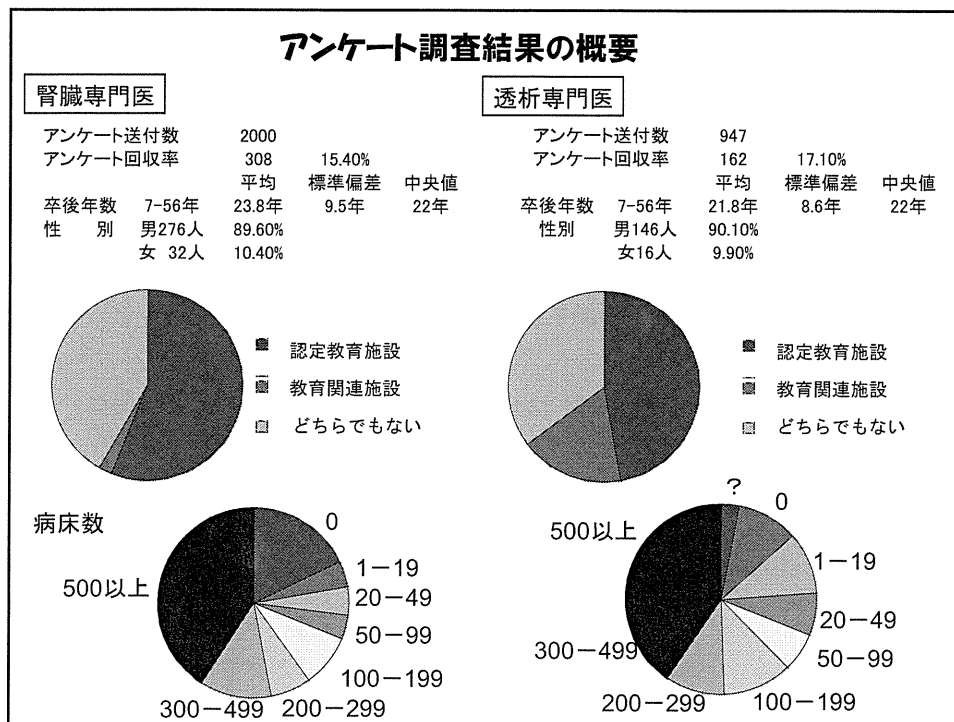


図24④

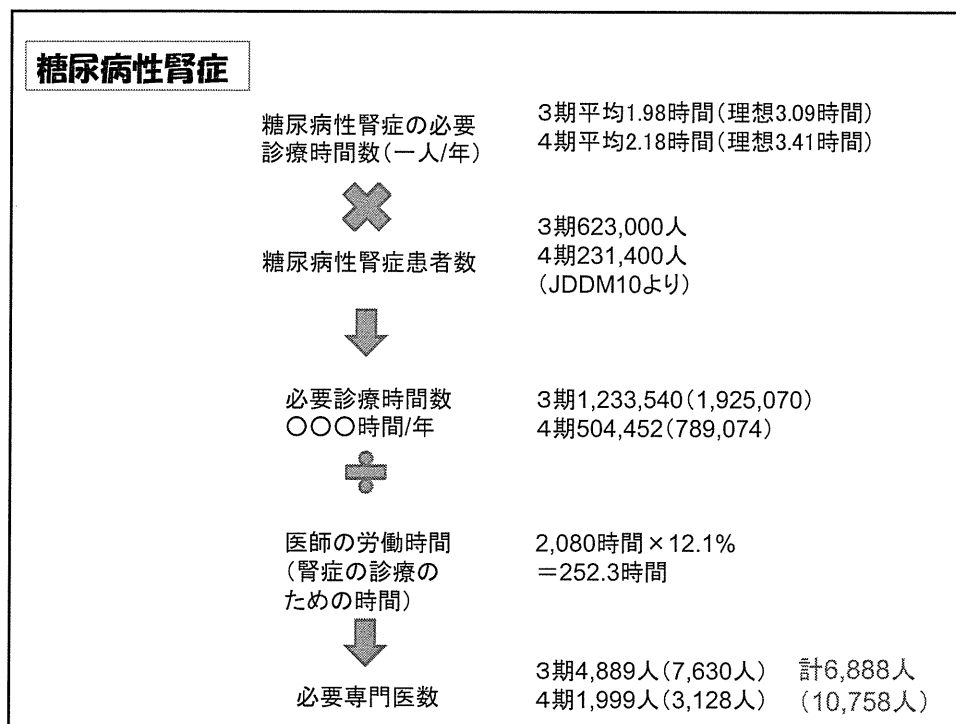


図24⑤

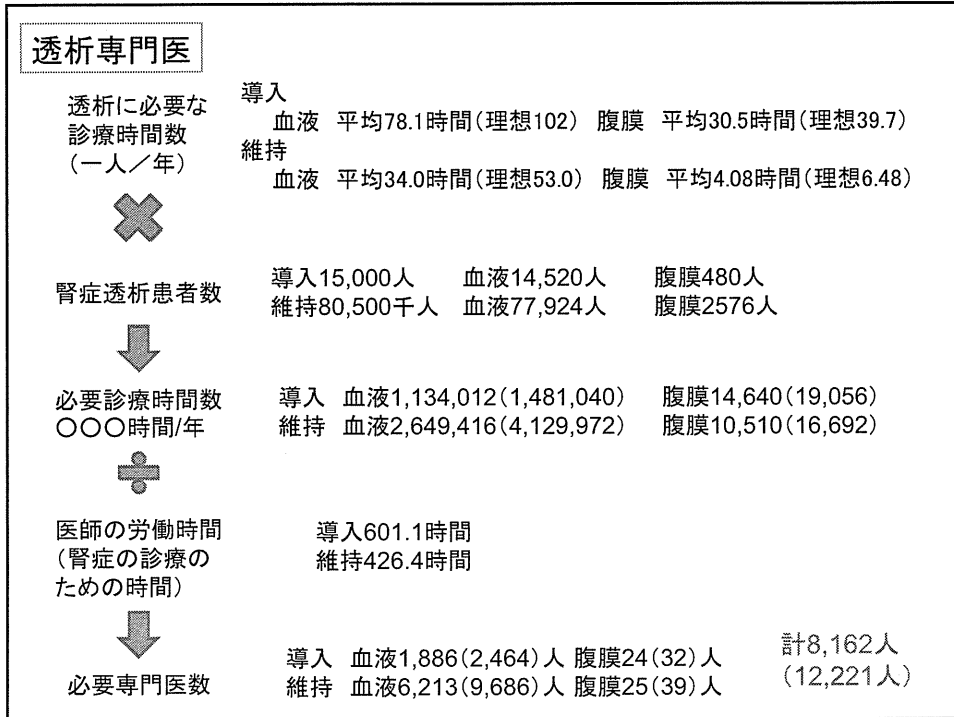


図25 糖尿病医療連携調査のまとめ①

アンケート調査結果の概要		
アンケート郵送件数	199	
回答数	36 (18/1%)	添付資料参照
地域別回答数	施設別回答数	中心組織
北海道東北 8	大学病院 12	医師会 5
関東 9	公的病院 17	病院ネットワーク 4
甲信越 4	一般病院 7	行政 1
東海 1		(千葉県 +2)
近畿 9		病院(通常の紹介) 24
中国四国 4		
九州沖縄 1		

・大学病院からの回答が多い
 ・糖尿病診療連携を行っている中心組織は医師会もしくは病院が中心となったネットワーク
 ・現時点では医療連携はまだシステム化されておらず、病院が中心となって、通常の紹介をうけるパターンがほとんど

図25②

<質問> 糖尿病医療連携を行っているか？	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携パスを用いた医療連携 	あり 19地域(全回答の52.8%) アンケート郵送病院の9.5% (千葉県は条件付き) ※具体的な資料は別添え(回覧)
なし	17地域
<ul style="list-style-type: none"> ・その他の医療連携(紹介状による医療連携) 	糖尿病緊急症 インスリン導入 教育入院 血糖コントロール目的

・連携パスありの施設からの回答は多いと考えると、医療連携パスを用いた医療連携を行っている地域は少ない。
 ・パスがあると答えた施設でも、開始から1年以内など始まったばかりの所が多い
 ・通常の紹介と連携パスを用いた医療連携の区別が困難

図25③

糖尿病専門医療機関における患者数医師数

専門医療機関の1ヶ月の平均的総診療患者数	7,730±1092	人/月
うち糖尿病患者数	1,037±732	人/月
専門医療機関における糖尿病診療に関わる医師数	5.4±3.6	人
日本糖尿病学会認定専門医数	2.7±2.1	人
医療連携を利用しない糖尿病患者の診療のエフォート	63.2±28.1	%
医療連携における糖尿病患者の診療	17.6±22.8	%

- ・糖尿病専門医へのアンケート結果より患者数は多い(大きな病院のみのため)
- ・専門医療施設でも学会認定医は50%程度
- ・現状ではほとんどの患者が医療連携を利用しない患者であり、医師の診療のエフォートも連携を利用しない患者の方が多い

図25④

糖尿病専門医療機関における診療時間

		病診連携あり	病診連携なし	糖尿病専門医
初診	診療時間	21±14.2	20.8±13.3	16.5±10.1
	理想時間	30.5±17.2	33.1±14.7	27.6±13.2
再診	診療時間	10.8±8.3	7.9±3.9	7.2±3.4
	理想時間	17.4±11.4	15.4±9.7	13.4±6.1

- ・連携のありなしで、実際の診療時間にも理想の診療時間にも大きな差がない。
(連携することでの診療時間の短縮はないと考えている?)
- ・連携ありでむしろ時間が長くなると答えている施設が複数あり。
- ・糖尿病専門医のアンケート結果(2型糖尿病)と比較して大きな差はない
(やや長い傾向)

図25⑤

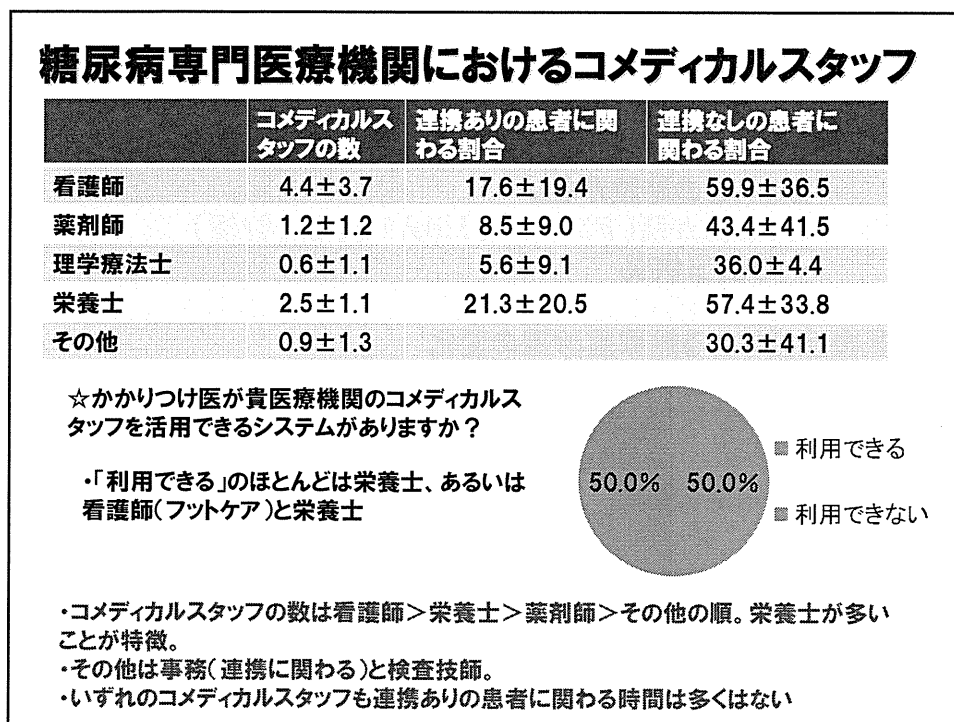


図25⑥

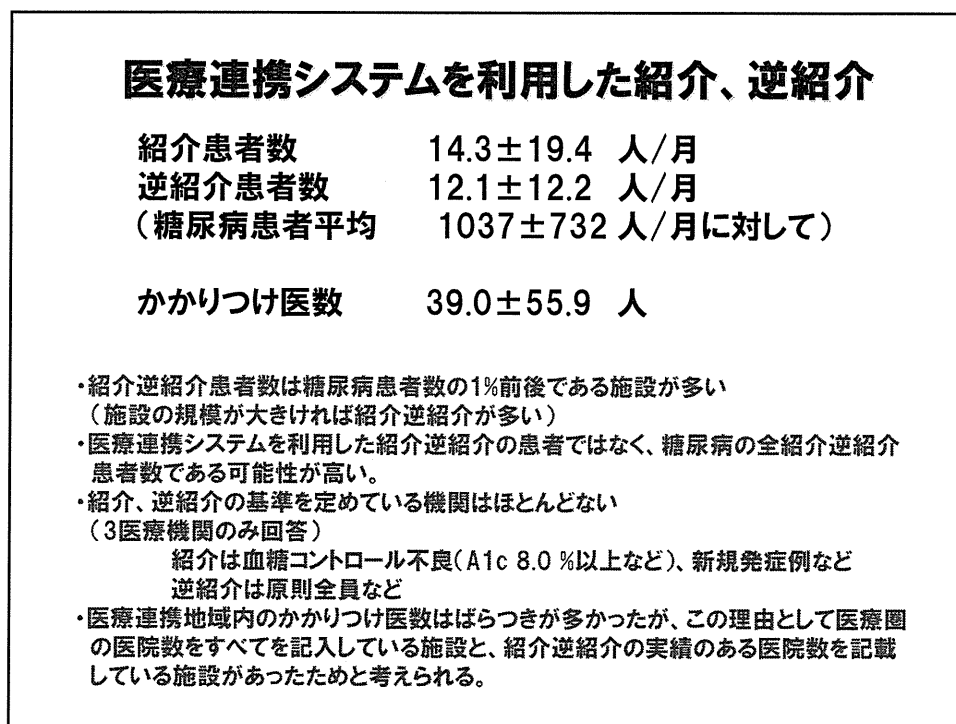


図25⑦

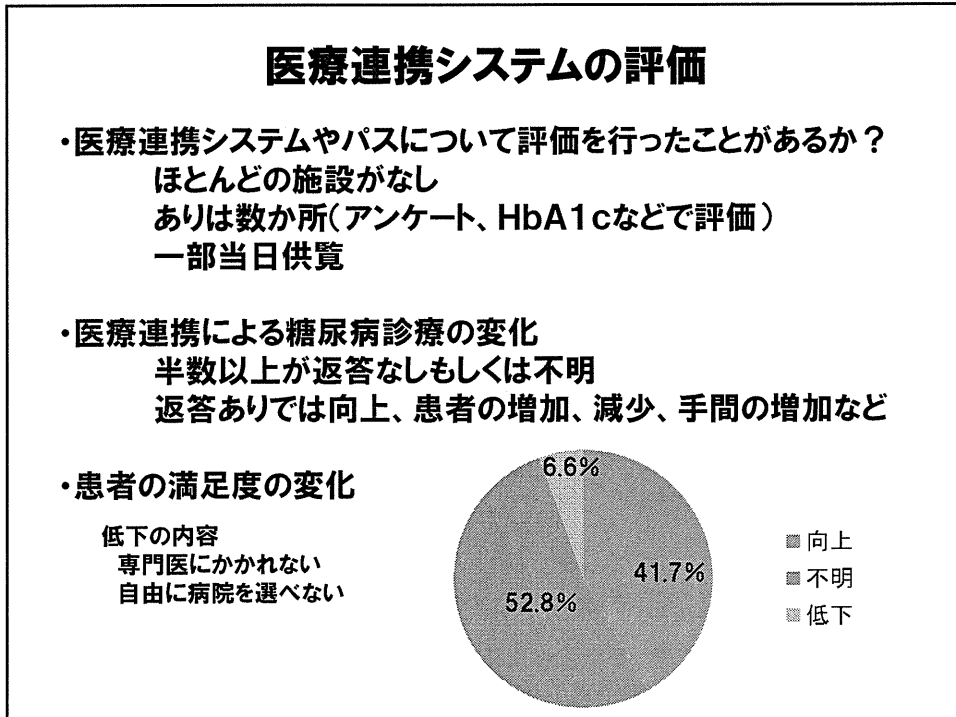


図25⑧

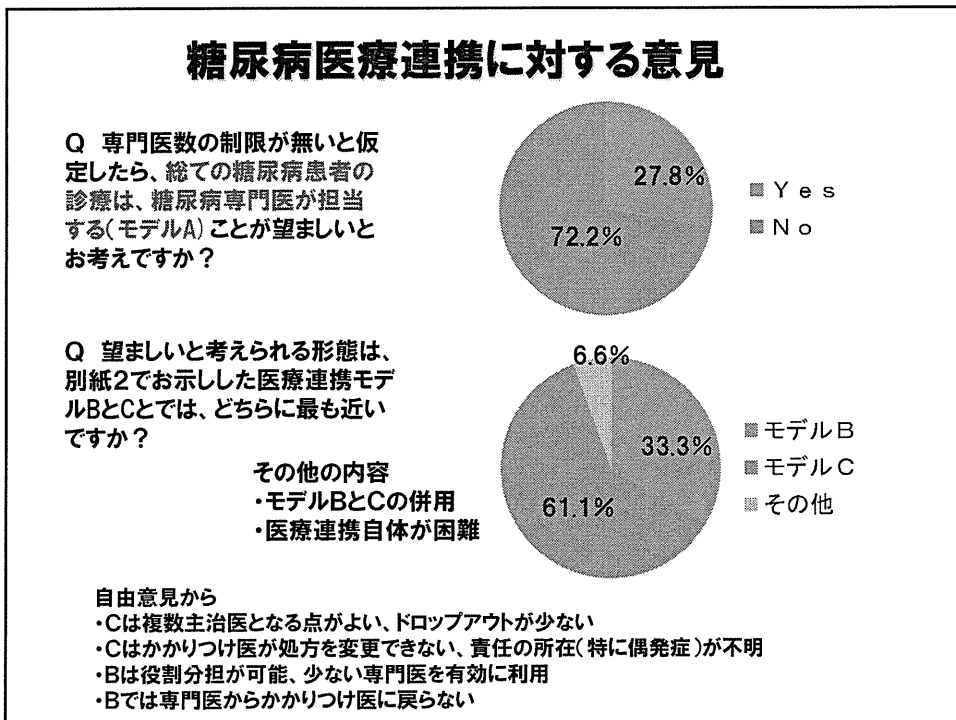


図25⑨

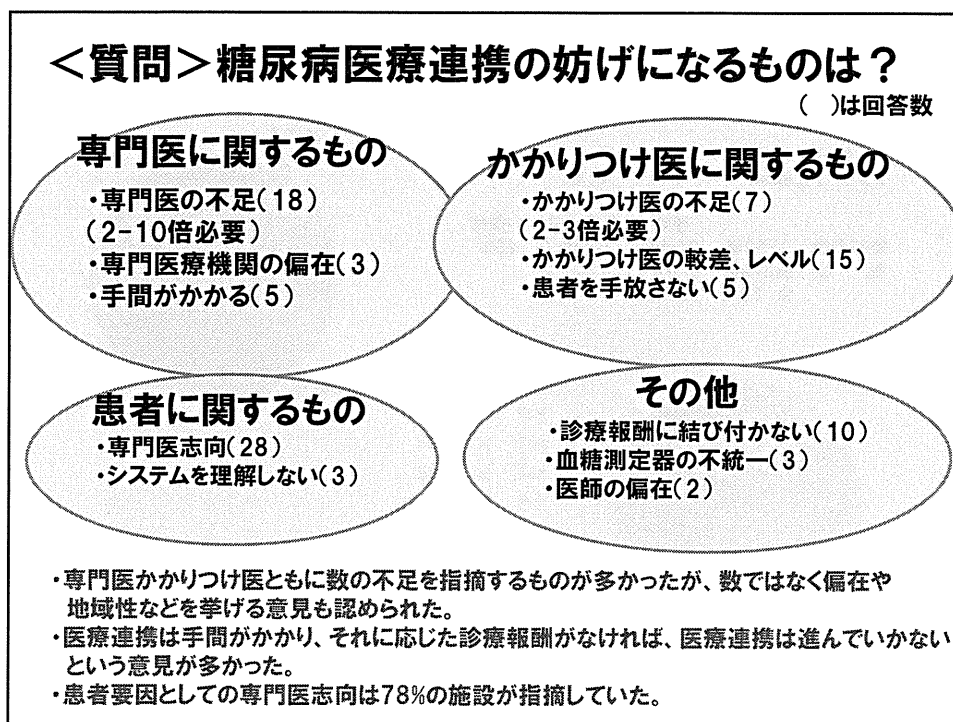


図25⑩

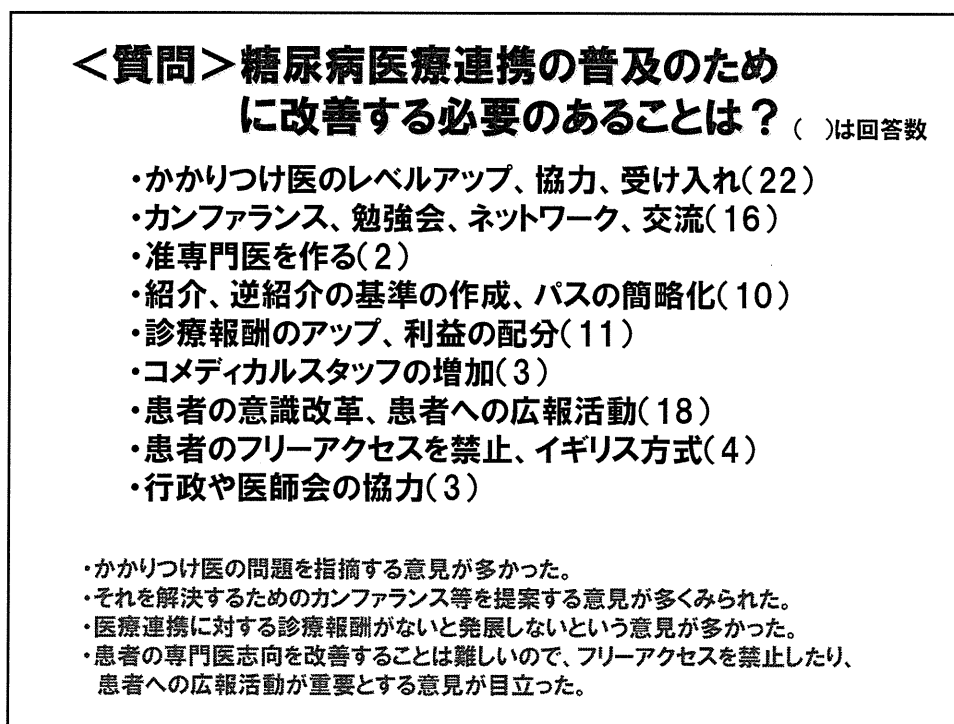


図26 CKD腎臓透析専門医解析①

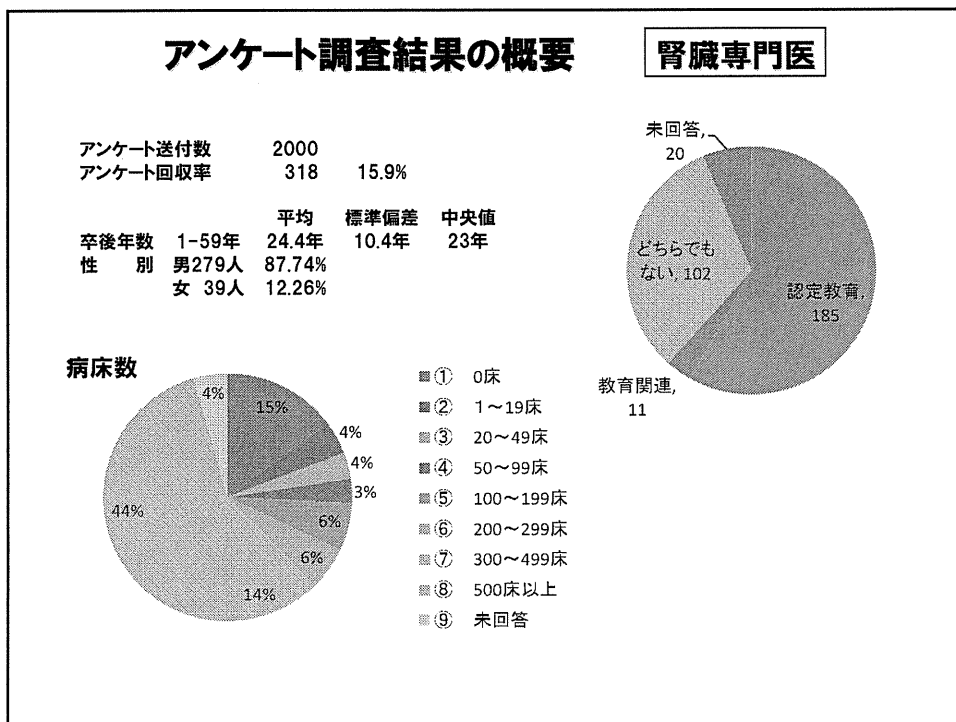


図26②

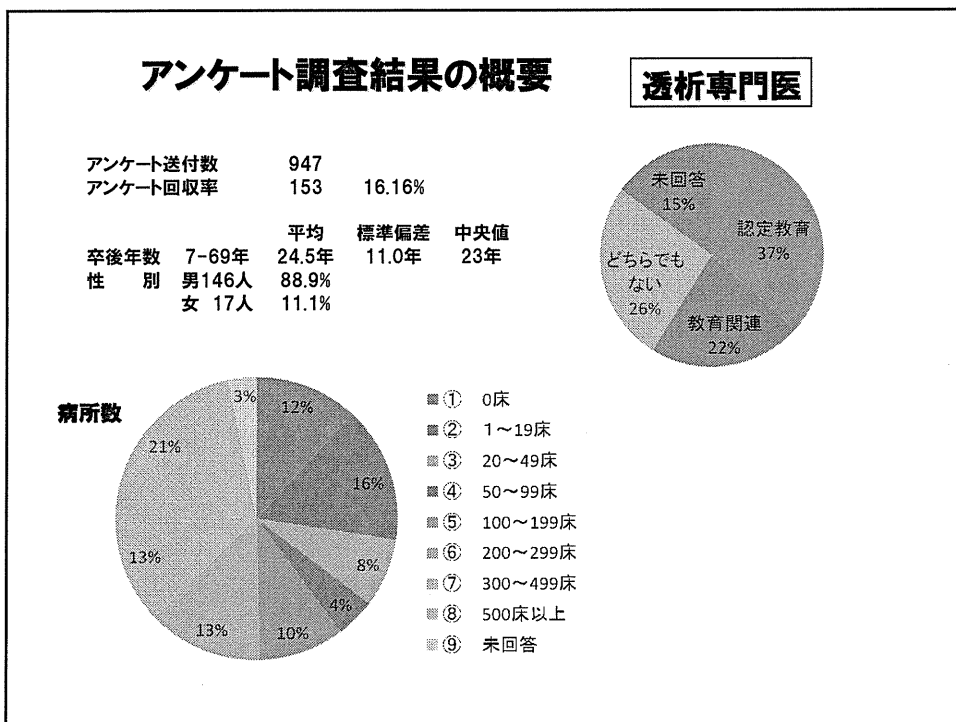


図26③

CKD患者数の推計				
	CKDステージ1		605,313	
	CKDステージ2		1,708,870	
	CKDステージ3		10,743,236	
	CKDステージ4		191,045	
	CKDステージ5		45,524	
CKD1-2の内訳				
GFR	計	尿蛋白陽性	陰性	専門医が診るべき
90	28,639,274	605,31	28,033,961	ステージ1-2
60-89	63,576,938	1,708,870	61,868,068	2,314,283
CKDステージ3の内訳				
GFR	計	尿蛋白陽性	陰性	専門医が診るべき
50-59	7,809,261	425,146	7,384,116	ステージ3
40-49	2,363,987	267,158		3,359,121
	2,096,828			
30-39	569,988		131,577	
	438,411			
Clin Exp Nephrol. 2009 13 (6) 621-630				
2009年末の慢性透析患者に関する基礎集計				
導入患者数	37,543(うち腹膜透析699)			
維持透析患者数	290,675(うち腹膜透析9,856)			

図26④

一人当たりの必要診療時間数の計算				
	CKD3		CKD4	
	初診	再診	初診	再診
実診療時間	0.26	0.13	0.31	0.16
理想時間	0.39	0.20	0.41	0.24
	時間/人			
↓				
アンケート結果より初診6.7% 再診93.3%を係数として換算				
↓				
	CKD3		CKD4	
実診療時間	0.14		0.17	
理想時間	0.21		0.25	
	時間/人			
↓				
月1回受診すると仮定して				
↓				
	CKD3		CKD4	
実診療時間	1.71		2.03	
理想時間	2.56		3.00	
	時間/人 (1年)			

図26⑤

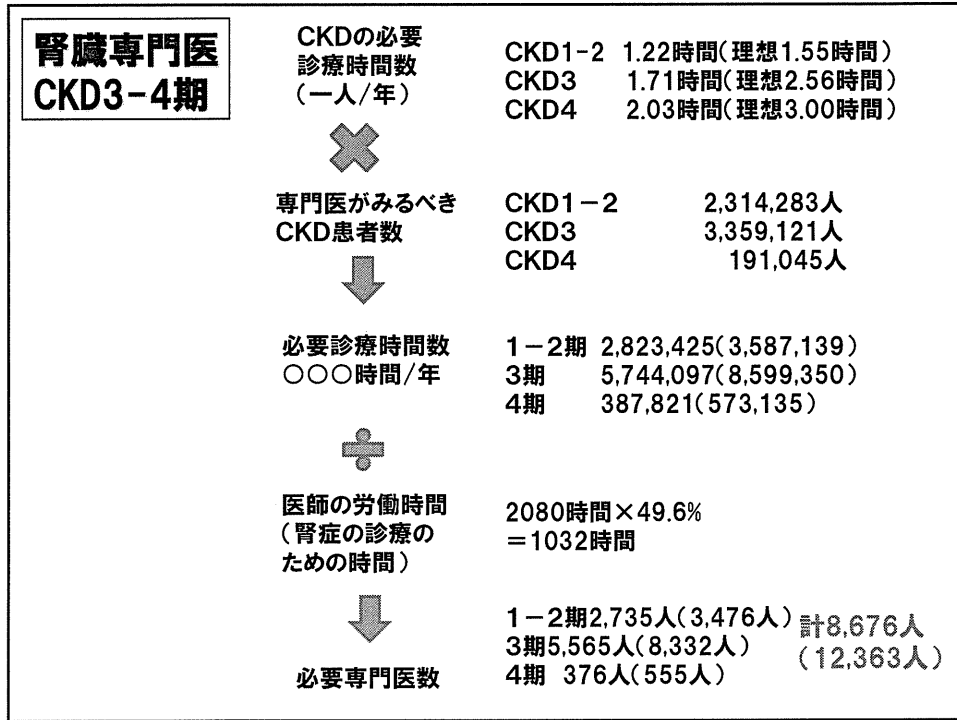


図26⑥

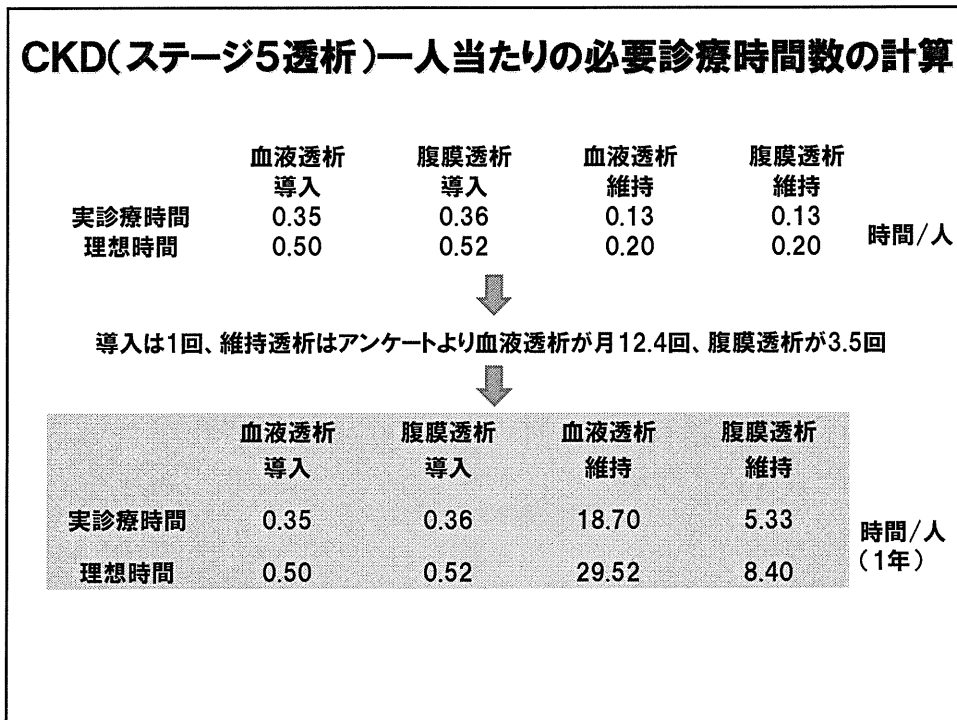


図26⑦

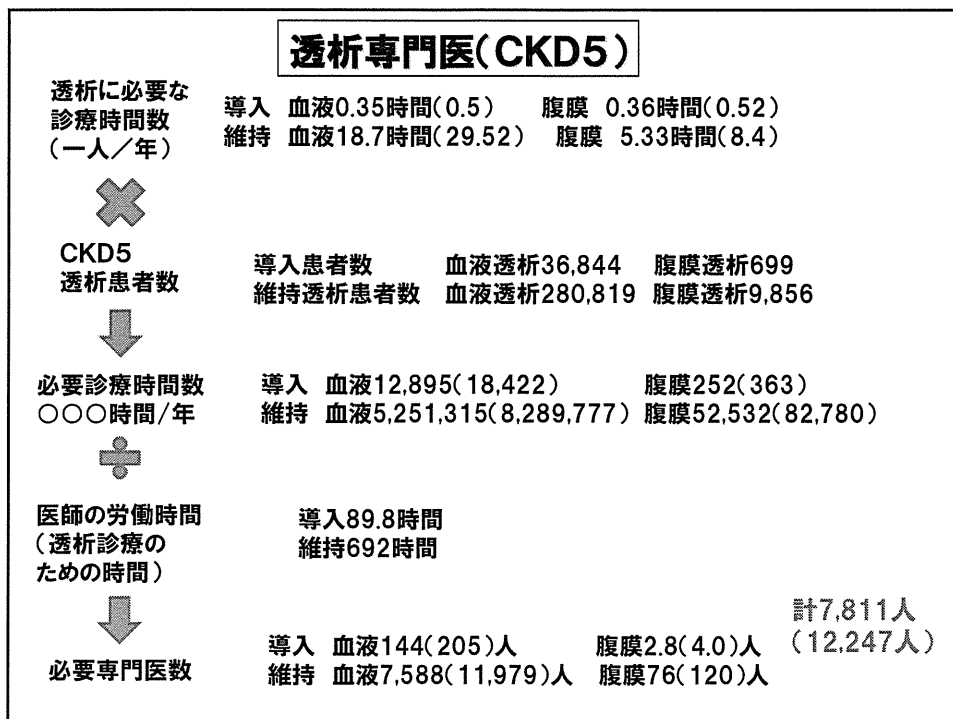


図26⑧

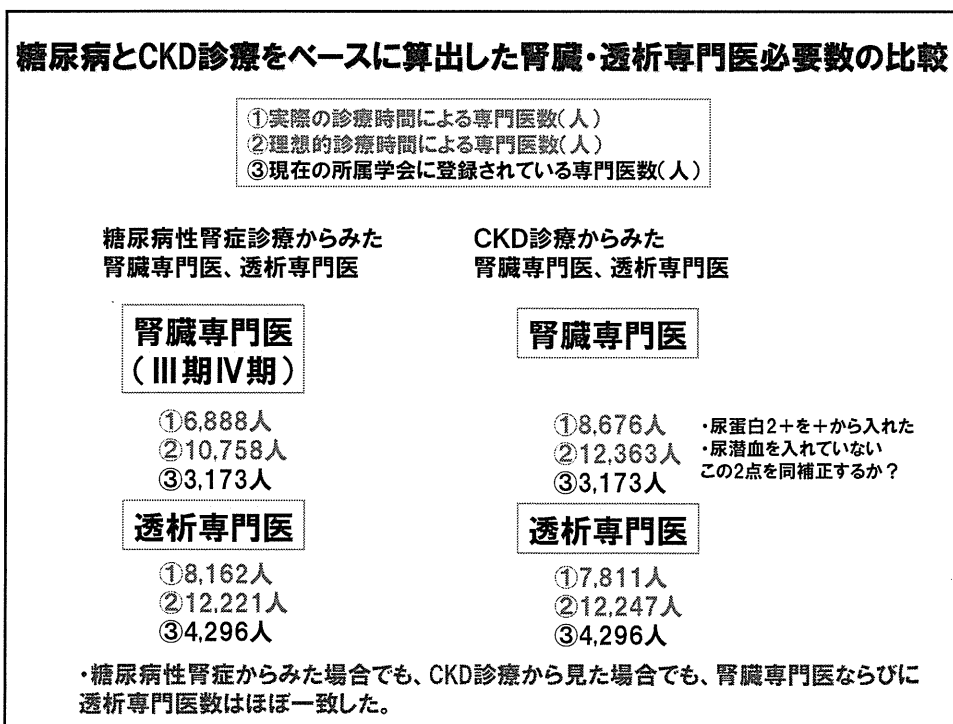


図26⑨

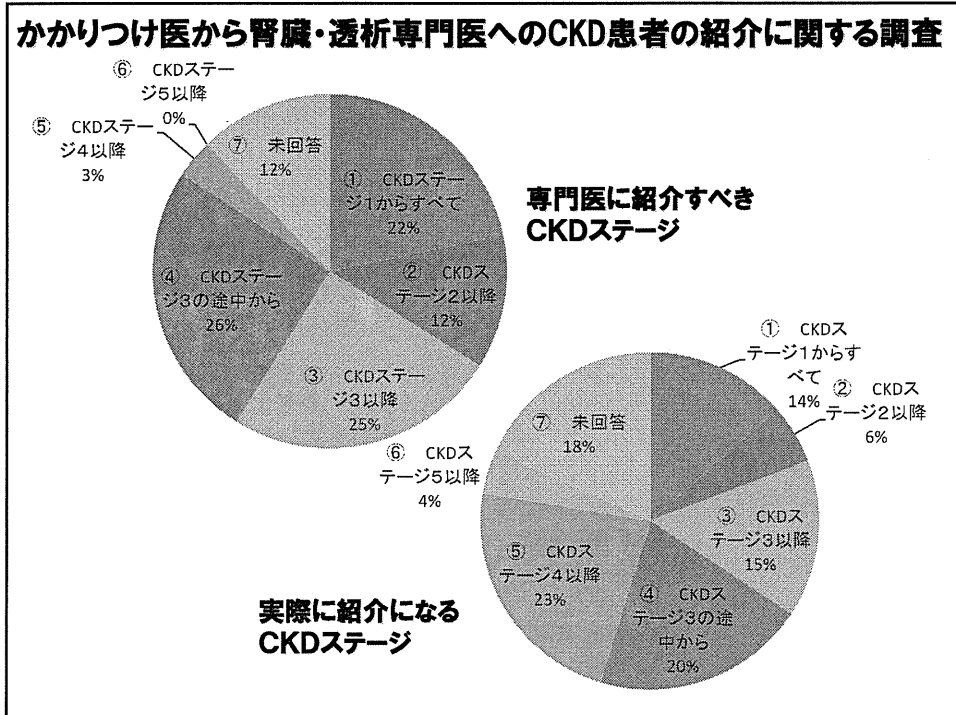


図27 CKDかかりつけ医解析①

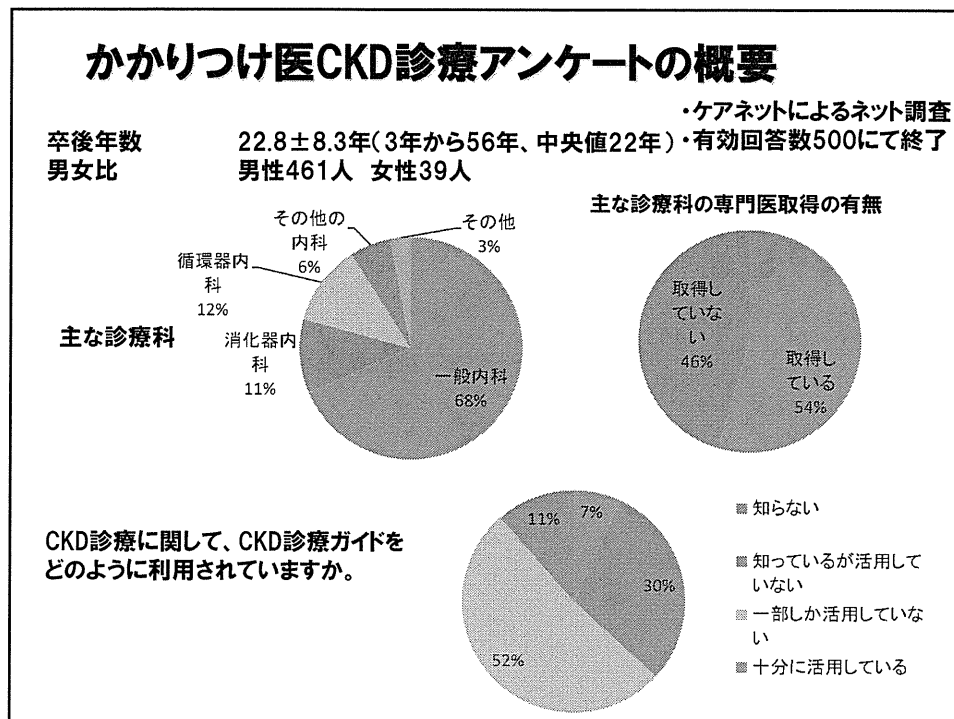


図27②

CKD患者数の推計

CKDステージ1	605,313
CKDステージ2	1,708,870
CKDステージ3	10,743,236
CKDステージ4	191,045
CKDステージ5	45,524

CKD1-2の内訳			
GFR	計	尿蛋白陽性	陰性
90	28,639,274	605,313	28,033,961
60-89	63,576,938	1,708,870	61,868,068

CKDステージ3の内訳			
GFR	計	尿蛋白陽性	陰性
50-59	7,809,261	425,146	
	7,384,116		
40-49	2,363,987	267,158	
	2,096,828		
30-39	569,988	131,577	
	438,411		

Clin Exp Nephrol. 2009 13 (6) 621-630

かかりつけ医が診る患者

初診: 検尿異常あるいはGFR低下すべて

再診: GFR>50の尿蛋白陰性患者
尿蛋白陽性(1+まで)でGFR>50(推定尿蛋白陽性の60%程度?)